

登録コード	TSK01500	開講年度	2026				
授業科目	学外特別講義（情報）					担当教員	白井 啓一郎
英文授業名	Extracurricular Studies					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	大学院総合理工学研究科、工学専攻、情報数理・融合システム分野、修士1～2年生
講義室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 4 TSカリ						
	【研究科共通】人類，社会の平和的・持続的発展のために，研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				幅広い見識と健全な倫理観を身につける。		
	【研究科共通】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力				専門知識と実践的技術力を身につける。		
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				自主的に情報を収集しさまざまな課題に対処する。		
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				論理的に説明できる思考力を身につける。		
	2 6 TSカリ， 2 5 TSカリ， 2 4 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				幅広い見識と健全な倫理観を身につける。		
	【専攻】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				専門知識と実践的技術力を身につける。		
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				自主的に情報を収集しさまざまな課題に対処する。		
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				論理的に説明できる思考力を身につける。		
(2)授業の概要	以下の高等教育機関等が開講している情報数理・融合システム分野に関連する講義・授業等を受講し、合格することで本科目の単位として認定される。対象となるかについては事前に担当教員に相談する必要がある。 <主な機関> ・国内、外国の大学における講義等 国内外での広範な活動成果を履修希望者からの申請に基づき、活動（履修）の内容・時間数、難易度等が本学の単位として、他の授業レベルに相等するか否かを個別に評価した上で、単位認定をする。海外留学等の場合、留学先の大学等で履修した実績などを単位取得の有無に関わらず申請可能であり、また、複数の授業科目、実績等を組合わせて申請することも可能である。						
(3)授業計画	1．事前の 担当教員との相談（受講の承認と申請） 2．受講（他の教育機関のシラバスや海外留学のプログラム等を参照） <海外留学・海外体験などの海外活動の場合> 留学等終了後1ヶ月以内に下記の資料を揃え、担当教員に提出する。 1月末までの申請を当該年度の履修として受付ける ・“学外特別講義”履修申請書 ・申請書に記載されている添付書類一式（活動（履修）の内容・時間数等を証する書類、単位取得証明書、修了証など） ・その他、授業担当教員から指示のある資料等						
(4)成績評価の方法	提出された資料に基づき、活動（履修）の内容・時間数、難易度等が本科目として、本学の他の授業レベルに相等するか否かを担当教員が評価した上で、その達成度に応じて成績を認定する。（他の教育機関等が与えた評定がある場合には、その内容に相当する本学の評定として認定する。） なお、評価段階において必要に応じてヒアリングを行うことがある。						
(5)成績評価の基準	「水準にある」 指定された資料を提出した場合、 「やや上にある」 指定された資料を提出し、授業の目標を達成していると判断できた場合 「かなり上にある」指定された資料を提出し、授業の目標を達成していると判断でき、90時間以上の学修があった場合 「卓越している」 指定された資料を提出し、授業の目標を達成していると判断でき、90時間以上の学修があり、受入先から高い評価コメントを得た場合						
(6)事前事後学習の内容	2単位修得するには、90時間の学修が必要となる。 通常の週1回授業で2単位の授業では授業時間30時間（2時間×15回），自習学習時間60時間（4時間×15回）となる。 学外特別講義において、それと同等とみなせるかは事前に当該年度のインターンシップ担当教員に相談すること。						
(7)履修上の注意	1．事前に担当教員の承認を得ずに受講した場合は単位認定されない場合があるので注意すること。 2．本学に入学後の受講・留学等のみを対象とする。						
(8)質問、相談への対応	メールなどにて随時受け付ける。教員室に来る場合は事前にアポイントメントをとること。						
(9)その他	高等教育コンソーシアムURL http://www.c-snet.jp/syllabus/						
【教科書】	受講する他教育機関の科目の指示に従う。						

【参考書】	受講する他教育機関の科目の指示に従う。
-------	---------------------